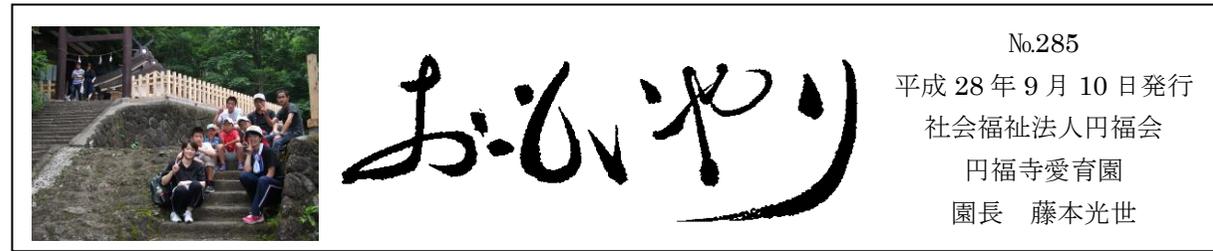


戸隠キャンプ特集号です。写真は、グループ行動の奥社です。



戸隠キャンプ

園長 藤本光世

毎年恒例の戸隠キャンプは定着して、質も上がって来ました。

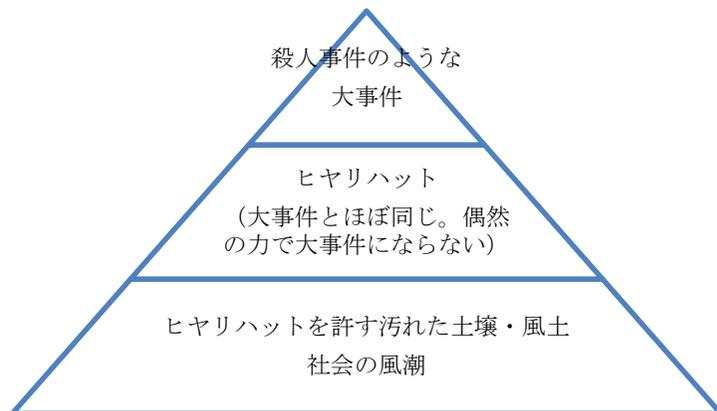
私は、行事は準備と後片付けが大切と思っているのですが、質の向上は準備と後片付けの向上でもあります。今年から球技大会は愛育園が主催する円福杯球技大会となって、期日が約1週間早まりましたから、そして、子どもたちが立派に育ってきて、良い準備ができました。

開会式は、リオデジャネイロオリンピックにかけて、サンバのリズムで始まりました。陸上のボルト・小ボルト、卓球の石川選手、バレーボールの木村選手が登場し、子どもたちの顔が中にはいった五輪の輪ができました。このアイディアは誰が考えたのでしょうか。子どもたちも職員も協力して、見事な出来栄でした。

この開会式に示されるように、キャンプファイアーをクライマックスにした、全ての行事が工夫を凝らされ、心が込められて、職員と子どもたちが力を凝集したものでした。それらは、職員や子どもの文章と、写真からご覧になってください。最高のキャンプでした。

世の中を震撼とさせる子どもの事件が相次いで起きています。12歳の子が集団で暴行されて、首を切られてなくなる事件がありました。15歳の子がパシリに使われて、挙句の果ては嘘を言ったという、ただそれだけの理由で集団暴行を受けて溺死させられています。

ハインリッヒの法則が示すように、1つの大事件の裏には29のヒヤリハットがあり、それを許す300の汚れた土壌（社会の体質）があるのです。



きっと、子どもたちが集団で夜遊びし、それを許している家庭がいくつもあるのでしょうか。その家庭の状況を、『個人の尊厳』とか『自由』という美名のもとに、許容する社会の雰囲気があります。だから、大勢の子どもたちは深夜徘徊し、それを誰も食い止めることができず、ヒヤリハットと言える、死に至らないまでも起きている集団

暴行事件がいくつもあるのでしょう。

今回の事件の集団も〇〇ギャングと言われるものでした。親は子どもの夜遊びを黙認し、被害にあった子と同じように、夜に帰宅しない子も仲間には大勢いたのでしょうか。個人の『自由』を貴ぶという美言に社会が乗り、人びとが他人の『自由』の入り込まないという、自分の自由に入り込まれたくないという我儘に誘惑され、あまりに、社会の義務や規律や礼儀や、人生の今の時代（中学・高校時代）にやらなければならない学習や部活に精進することを軽く見てしまった結果だと思います。

愛育園の子は、みんな人生の夢を持っています。この事件を起こした子は、そして被害にあった子は、人生の夢を持っていたのでしょうか。夢どころかきっと、何も考えないで、本能の赴くままに、刹那的な楽しさを追っていたような気がします。そんなものはありえないのです。

松井秀喜選手の星陵高校時代の恩師は選手に次のように示しました。

心が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる

恩師は、良い運命の中に生きてもらいたくて、この言葉を示したのだと思います。然し、悪い運命に向けても同じです。

朱に交われば赤くなるというように、知らず知らずのうちに、心

が変わって夜遊びをするようになる、夜遊びは習慣となって人格が変わってしまう。人格が変わると、同じような人格の仲間が集まる。若くして亡くなってしまいうように、そして犯罪に手を染めたものも、自分の人生を殺してしまったように、運命が変わってしまうのです。

愛育園は良い運命の中に子どもを導く場であり、そのために職員は全力を尽くしています。それが、戸隠キャンプに表れています。愛育園万歳!!



戸隠キャンプ

副園長 青谷 幸治

今年も8月9日～10日に戸隠イースタンキャンプ場でキャンプを行いました。

今年第1回円福杯球技大会を7月に行い、2週間後にキャンプを行うため準備期間が少なく手落ちがないかとても心配でした。しかし例年以上にキャンプの準備がスムーズに行え、キャンプ前日に慌しく動くこともなくキャンプの用意ができたことが一番の収穫でした。なぜ準備がスムーズにできたのか？①全ての児童、職員がキャンプを楽しみにしていること。②キャンプは子どもたち自ら作り上げることだと理解している③新任の先生方が初めての経験にも関わらずワクワクしながら準備をしたこと。などが挙げられます。年々、中高生のキャンプに対する思いが強くなりキャンプの質が高まっている。職員が動かなくても中高生が中心となって準備から片づけまで行えること。それを小学生が見ているため、いつか自分も作り上げる立場になりたいと思えること。新任の先生方が何もわからない中でも楽しみに準備する姿があった。キャンプを成功するかどうかは、早めの準備にあると思いました。食事作りやキャンプファイヤー、班別行動などすべてのプログラムを成功させました。1日目最後のプログラムである語り場（高校生と本音で語る時間）では高校生と多くの先生方でお茶を飲みながら深夜まで語り合うことができました。子どもたちにとっても先生方にとっても思い出に残る2日間でした。ありがとうございました。



戸隠キャンプ

主任保育士 石崎 早織

円福杯球技大会も無事終わり、子ども達の気持ちはいっきにキャンプモードに変わり、今年例年になく早い段階からキャンプの準備をスタートすることが出来ました。今年のキャンプは去年以上に中高生の協力もあり、本当に素晴らしいキャンプになりました。また毎年キャンプへ行った夜は、中高生と職員の交流の時間があります。いつもと違う雰囲気の中で話すこの時間を私は毎年楽しみにしています。今年もゆっくりとした時間の中で子どもと火を囲みたくさん話をすることができ、とても良い時間を過ごすことが出来ました。またそのあとの高校生と職員との語り場では普段頑張っていることや今後の進路についてなど、もちろん普段の生活の中でも話をしていますが、たくさんの先生方から子ども達へ伝えられる大事な時間でもあり、子どもの進路に対しての考え等を聞ける、大事な時間でもあります。子ども達の話聞いて、私が思っている以上に子ども達も様々

な事を考えて生活していることがわかり、貴重な時間を過ごすことが出来ました。

この二日間、とても充実した時間を過ごすことができ、子ども達にとっても私たち職員にとっても良い思い出に残る二日間になりました。ありがとうございました。

キャンプ

保育士 渡邊梓

楽しみにしていたキャンプはあっという間に過ぎ、子ども達との楽しい思い出になりました。私は、愛育園で働き始めてすぐに園の行事がたくさんあることを知りましたが、中でもキャンプは、去年の様子など、話を聞くと嬉しみになっていました。

7月下旬になり、球技大会も終わり、キャンプの準備が始まりました。どんなレクをするのだろう、どんな夕飯を作るのだろう、みんなで見るキャンプファイヤーはどんなにきれいだろうかと、私は楽しみな気持ちばかりが先走り、キャンプの開村式係になったにもかかわらず、寸劇の案が全く浮かびませんでした。新任の職員と顔を合わせるたびに「どうしよう」と焦るばかりでした。ある日、おやつを取りに食堂に向かう途中、ロビーで青谷先生と石黒先生がお話ししていました。私は、開村式の準備が全く進んでおらず、まずいな、という思いをお二人に相談してみました。「今年ハリオ五輪があるので、五輪をテーマにどうですか？聖火リレーとか…」と話したところで、「五輪

いいね」「ブラジルだから、サンバなんてどう？」「選手入場みたいしたら？」「小林先生、卓球の石川選手に似ていますよね！」「他に選手に似ている先生いないかな」とアイデアがどんどん湧いてきました。この時、私は、「会話」がいかに大切であるか、自分の考えを伝えてみるのがいかに大切



あるかを改めて感じました。寸劇のストーリーが15分程で形になり、それまで一人で考えていた時間がとてももったいなかったと感じました。

それからキャンプ本番まではあっという間でした。子ども達のやる気が溢れ、もっとこうしたらどうだろう、練習しよう、などと積極的に準備に参加してくれました。職員も小道具の準備に熱が入り、「文化祭みたいですね」と話したのも良い思い出です。本番での皆の輝く笑顔が忘



られません。手作りの開村式、手作りの食事、手作りの肝試し、すべてが愛育園の皆の手作りで、あったかくて優しい愛育園キャンプが大好きになりました。さらに、一人、二人、三人と人が集まれば、十にも百にも千にも力が増えることを感じる事ができ、協力することの大切さを学んだキャンプでした。次の行事も愛育園の皆で力を合わせて、最高の瞬間を共に味わいたいです。

戸隠キャンプ

栄養士兼調理員 原 未華

8月9、10日に戸隠キャンプがありました。夏休み中の行事ということもあり、子どもたちも楽しみにしていました。戸隠キャンプ場に着くと、少し天候が悪く小雨が降っていて心配でしたが、徐々に晴れてきたので安心しました。中高生を中心に荷物を降ろしてテントを張るなど、積極的に準備を進めてくれました。作業が終わると、開村式が始まりました。今年はオリンピックの年なので、オリンピックにちなんだ開村式だったので見ている側も楽しめました。

開村式が終了して、昼食を食べた後にグループ別行動をしました。私はおやつ作りを担当させていただきました。今年はデザートピザということで、チョコバナナピザ、フルーツピザ、シュガーバターピザの3つを作りました。ピザ生地はあらかじめ作って発酵させておいたものを子どもたちが伸ばして、最後の仕上げまでしてもらいました。初めての試みだったので、どうなるか自分自身も不安でしたが上手く焼き上がってくれて良かったです。出来上がったピザをみんなで試食して、生地はパリパリでオリジナルピザを作ることが出来ました。

グループ別行動終了後、各班に分かれて夕食の準備に取りかかりました。私は、5班だったのでロコモコ丼とフルーツポンチを作りました。小さい子から高校生までいるので全員で協力して作りました。外で料理をすることがあまりないので、手慣れている子もいれば、苦戦しながらもゆっくりと最後までやり切っている子もいました。班全員で丁寧に心を込め



て作った夕食は、ボリューム満点で、自分たちが調理したのでより子どもたちも大満足でした。

夕食を食べた後は、子どもたちが待ちに待ったキャンプファイヤーでした。全員で輪になって声を一つに心を一つに夜の寒さも吹き飛ばくらい汗をかきながら、笑顔や笑い声が絶えず、楽しい一時でした。全員が一つになり、大盛り上がりでした。夜は、中高生の語り場に参加させていただきました。今日のキャンプの反省など一人一人が話していく中でキャンプの準備や設置など中高生が率先して動いていて、何も言わずとも周りの状況を判断して助け合っている姿を見て、本当に感心することばかりでした。キャンプの夜も遅くまで続き、1日目が終了しました。

キャンプ2日目の朝を迎え、少し肌寒かったですが、快適な朝でした。朝食作りも各班に分かれて作業しました。どの班も豪華な朝食で心もお腹もたくさん満たされました。朝食を食べ終わり、テントの片付けや荷物の積み込みをした後、班対抗レクレーションをしました。動き回ったり、時には頭を使ったりとさまざまなレクをしました。班全員で考えたり、応援したりと最初から最後まで笑顔があふれていました。

2日目の昼食は、バーベキューということで多くの肉や食材を準備していただきました。キャンプといえばバーベキューがつきものであり、天候が良い中でバーベキューが出来て子どもたちも大喜びでした。

充実した2日間を過ごさせていただきました。調理は普段、子どもたちとの関わりが少ない分、行事を通して子どもたちと一緒に参加することができて本当に楽しかったです。

2日間、ありがとうございました。

キャンプ

保育士 小林 礼

8月9日はキャンプ。そこに向けて私の仕事はしおり作りから始まりました。みんなが見やすく表紙をただけでワクワクしてしまうような、そんなしおりを作るのが私の役目です。そしてそのほかの各係の仕事として同期の先生方と何度も集まり話し合い買い出しに行き開村式・バスでのレクについて決めていきました。自分自身キャンプは中学生の以来で開催側であるキャンプは人生初になります。とてもワクワクしながらの事前準備になりました。その気持ちが子供たちにも伝わ

てくれたのか、積極的にお手伝いをしてくれました。表立った仕事でないちょっとした雑用でも快く「いいよ！やる！」の返事が返ってきます。とても嬉しく本当に助かりましたし、子供との一体感を味わうことができました。そして当日、キャンプに危険はつきものなのでワクワクする気持ちももちろん持ちながらかなり気を引き締めて臨みました。開村式、班ごとのご飯作り、テントの設営、



グループ別行動、キャンプファイヤー、肝試し、語り場、レク、BBQ. . 計画通り進み上手くいったところも、そうでなかったところもありました。ですが全て含めて今回のキャンプです。子供たちも自分自身も本当にたくさんのことを学ぶキャンプになったと思います。次回のキャンプに活かしていくのはもちろん日々の生活にも上手く活かし、より内容の濃い日々を送っていきたいと思いました。

愛育園キャンプ

保育士 富沢正樹

8月9日10日に毎年の恒例のキャンプ行事を行いました。

場所は、今年も戸隠イースタンキャンプ場で2日間。子どもも職員も目一杯楽しんだキャンプ行事となりました。

年々、子ども達の積極性は増していて、キャンプのオープニングを飾る開村式では、「僕も、私も」と、寸劇に参加する児童が大勢いて、見る側の児童の方が少ないくらいの状態でした。数年前までは、まだ、職員の方から誘ってみて、それでも「恥ずかしいから…」と拒否する子もいました。しかし、毎年の経験から、積極的に参加した方が「楽しい！」という事を理解してきた子ども達は、何に関してもとりあえず「やりたい！」と手を挙げます。

キャンプファイヤーでも、中高生の子達が、マイクを手に取り大いに盛り上げてくれました。これは、去年まで、さすが任せるまでには至らなかったのですが、今年は「猛獣狩りに行こーよ!(レク)」と大きく楽しそうな声でみんなをリードしてくれる子どもの姿があり、本当に頼もしさを感じました。みんなを喜ばせて、楽しませて、そういう事がなんだか自分も楽しい。そんな雰囲気の子供達から伝わってきました。

また、中には今年キャンプ参加が初めてという子もいました。愛育園のキャンプがどんなものか分からないはずなのですが、キャンプ前の準備が本格的に始まった2週間程前からは、他の子が楽しんで準備をする雰囲気につられて、一緒になって準備に参加して、初めてで分からないはずのキャンプを心待ちにする様子も見られました。その中の一人の高校3年生のI君は、それまで硬式野球班の活動に専念していて、愛育園に来て以来、一度もキャンプには参加できず、今年が最初で最後のキャンプとなりました。開村式から始まって、キャンプファイヤー、肝試しのお化け役など、また準備も含めて、全力で楽しんで、そして協力を惜しまないI君の姿や、その他の子ども達様子から、このキャンプを通じて、子ども達の愛育園に対する思いを感じられたように思います。

これから、まだまだ行事が続いていきます。9月25日は第3回愛育園大運動会！そんな子ども達の思いに応えられるような行事作りを今後も目指していきたいと思います。

戸隠キャンプ

高3 TI

8月9、10日に愛育園行事で戸隠キャンプがありました。私にとっては最初で最後のキャンプでした。なので、思いっきり楽しんでいい思い出作りにしたいと思いました。

一日目、9時に愛育園を出発して、バスで戸隠イースタンキャンプ場へ向かいました。バスの中

では車内レクもありました。中でもグループに分かれてやる絵描きリレーが一番楽しかったです。車内レクを楽しんでいるうちに、いつの間にかキャンプ場に到着していました。思ったよりも少し寒くて驚きました。キャンプ場に到着したら、いそいで荷物を降ろしてテントを設営しました。

その後、開村式がありました。今回の開村式のテーマは、今旬のリオオリンピックでした。私は陸上のボルト選手の役をやりました。今まで劇の役をやったことがなかったので上手くいか不安でしたが、皆の前にでたとき、すごく笑って見てくれていたのでとても嬉しかったです。開村式は大成功でした。

その後昼食をとって、グループ別行動がありました。私はスポーツ遊びを選びました。私は負けず嫌いなので、全て全力で遊びました。皆が楽しそうに笑顔で遊んでいたのがよかったです。グループ別行動の後は夕食作りがありました。班のみんなで協力してとても美味しい夕食が作れました。

夕食の後は一日目最大のイベント、キャンプファイヤーがありました。私はキャンプファイヤーの係りだったので、会場を盛り上げようと精一杯声を出しました。久しぶりに大声を出したので声が枯れてしまいました。でも、思い出に残る素晴らしいキャンプファイヤーになってよかったです。キャンプファイヤーが終わった後は皆が待ち侘びた？肝試しがありました。私はお化け役で蜘蛛男をやりました。想像以上に皆が驚いてくれて嬉しかったです。やりがいのあるお化け役ができてよかったです。

一日目の最後は中高生の反省会と語り場がありました。語り場では、普段話を聞けない先生たちの話を聞けるととてもいい場になりました。

二日目、昨日の夜は遅くまで起きていましたが、とても目覚めいい朝でした。久しぶりのラジオ体操をして、朝食作りがありました。昨日の夕食作りから私は火おこし担当だったので料理についてはおいしかったとしかいえないのが残念でした。

朝食の後は班対抗レクがありました。勝負事とあって負けたくないという負けず嫌いの魂に火が



つきました。ひっくり返しゲームでは、多少大人気ないと思うところもあったけど全力で挑みました。最後にやったネームガンマンでは一点も取れなかったけど他のゲームで圧勝して見事総合優勝する事が出来ました。その後愛育園の皆でBBQがありました。大量の焼きそばと大量の焼肉を皆で食べました。最後まで皆の笑顔が弾けていてとてもいいキャンプになりました。

私の班のメンバーは個性が強く、まとまるか心配だったけど、なんとなく一つになっていたのが良かったです。最初で最後のキャンプに、最高の思い出を作ってくれた愛育園の皆に感謝したいです。

愛育園キャンプ

まごころ保育士 竹内早季

球技大会が終わり、そこから準備や当日まで本当にあっという間でした。班ごとのシンボルでもある班旗の製作や、食事のメニュー決めから職員だけでなく子ども達から「やりたい!」という強い思いが伝わってきて、準備の段階からみんなで作り上げているキャンプだなと感じました。小学校1年生のK君が夕飯のメニューを決める時に、「早く食べたい」とニコニコしていたのがとても印象に残っています。また、私自身職員として初めてのキャンプで、キャンプファイヤーや開村式などの係として関わりましたが、これまで自分が学生時代に主体的に行事に参加していた経験が少なく、なかなかアイデアが出てきませんでした。しかし、周りの先生方や子ども達の発想からたくさん学ぶことが出来たと思います。愛育園に来て今までで1番充実した行事を経験している気がします。子ども達が全力で楽しもう、やってみようという気持ちに私も負けない様に取り組めたからだと思います。キャンプ当日は、想像よりも難しいこともありましたが、それ以上に自然の中でご飯を食べたり遊んだりすることが楽しくて仕方ありませんでした。子ども達も元気いっぱい汗びしょりになりながら遊んでいました。早くも来年のキャンプは・・・と考えてしまうくらい充実したキャンプでした。



戸隠キャンプ

保育士 近藤 典雄

8月9, 10日今年も愛育園の戸隠キャンプが始まりました。今年のキャンプは何日も前から児童を巻き込んで準備をしたり、計画を練ったり、練習をしたり、始まるのを今か今かと待っていました。

当日、園の様子は少しそわそわしていました。時間になってバスに乗り込む子ども達はとても楽しそうな表情をしていました。キャンプ場に着いてま



ず男の子を中心にテント設営をしました。この日のために何度もテントを張っては片付け練習を重ねてきました。速い子では一つのテントに5分程で完成させられるぐらいの子も出てきました。全てのテントを張り終えると。今度は開村式です。開村式では毎年こったものになりますが、今年は例年よりも盛り上がったと思います。その後もグループ別行動、夕食作り、キャンプファイヤー、肝試しどれも皆が協力して皆で盛り上げようという一日目を終えることができました。

二日目も朝、早くに目が覚めて起床の時間を待たずに起きだして来る子が何人もいました。二日目も朝食作りや班対抗レクなどとても盛り上がっていました。

今年のキャンプは中高生を中心に準備の段階からよく手伝ってくれたり、皆で楽しむために一人一人が盛り上げてくれたので、とてもいいキャンプになったと思います。来年のキャンプが今からとても楽しみです。

キャンプ

調理主任 伊藤 慈子

子ども達がとても楽しみにしている毎年恒例のキャンプが、8月の9日・10日に戸隠イースタンキャンプ場で行われました。今年も、幼児から高校生の子も達と職員が一緒の班を5つ作り、各班でチーム名を決め班旗を描き、キャンプでの夕食と、翌日の朝食を班員で話し合い決めました。今年、キャンプ場近くのお店で食材が買えるという事で、朝食に卵や牛乳など生鮮食品を使う事が出来るようになり、また、翌日の昼食はBBQに決定していたので、各班メニューを決めるのに苦労していました。今年の各班のメニューは、流しそうめんの道具を持ち込み、本格的な流しそうめんをする班、今アウトドアで人気の調理器具『ダッチオーブン』を使用した、蒸し鶏とメの麺を作る班、そして結構多かったのが、スイカを使ったフルーツポンチを作る班と、とてもバラエティーに富んでいて、行く前から食べるのが楽しみでした。



当日は小雨というあいにくの天気でしたが、決行する事が出来ました。リオのオリンピックをテーマにした開村式に、緊張して参加させて頂いたのもいい思い出です。そのあと、軽く昼食をとり、グループ別行動をし、各班に分かれ夕食の準備に取り掛かりました。幼児さんも小学生低学年の子も、それぞれ進んでお手伝いをしてくれ、みんなが料理の分担・協力をしていて、とてもいい雰囲気でした。園長先生が主に、火をおこし、加減して頂いたおかげで、飯盒のご飯もおいしく炊け、各班の調理がスムーズにいきました。『いただきます』は、出来た班からし、みんなで楽しく食べました。他の班が気になり、様子を見に行ったり、お互いの班の料理を交換したり、食べ歩いたり、思い思いに楽しみました。今年は各班、出来上がり量が多く、ちょっと足りないかも…ぐらいが丁度いいようでした。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

いちだんと肌寒くなった夜、キャンプファイヤーの火と、みんなで楽しく歌って踊って騒いで体が温まりました。そして花火や、想像以上に怖く面白かった肝試し…と、楽しい事がたくさん続き、寝る時間になっても興奮してなかなか眠れませんでした。

翌日は、みんなでラジオ体操をし、朝食を作って食べ、みんなで協力してテントなど全体の片付けをし、班対抗レクをしながら昼食のBBQの準備。おいしいお肉を焼き、そして焼きそば、いつもなら競争で食べるのに、昨日からたくさん食べ過ぎて、レクをしてもそんなにお腹はすかなかったようです。その後、『来た時よりも、きれいに！』という気持ちで、後片付けをきちんとし、閉村式をし、キャンプは終了となりました。

1泊2日のキャンプですが、子ども達を中心となるよう、職員はずっと前から計画し分担して、たくさんの準備をしてきました。子ども達も、みんなで楽しむために、いろいろ計画し準備を頑張ってきました。職員と子どもが一丸となったキャンプは大成功で、愛育園全員の、また楽しい良い思い出が出来ました。ありがとうございました。

キャンプ児童感想

僕は愛育園に来て初めてのキャンプでした。僕は、最初どんなキャンプなのかなあーと思い、キャンプ場に行くともものすごい設備がされていて良かったです。一日目、まず開村式をしました。自分はサンバを踊りました。ものすごく楽しかったです。グループ行動では、僕は奥社ウォーキングを選びましたとても疲れましたが、来年も行きたいです。その後班で夕食を作ったり、皆でキャンプファイヤーや肝試しやっても楽しかったです。二日目、まず班で朝食作りをしました。僕は目玉焼きの担当でした、形が崩れてしまったけど美味しかったです。その後はテントの片付けシユラフの積み込みをしました。班対抗レクではいくつかの種目をして競い合いました。どれも盛り上がって楽しかったです。来年はもっと協力をしていいキャンプにしていきたいです。(中3 SA)

8月9、10日にキャンプがありました。朝6時に起きて、お参りをしてキャンプ場に向かって出発しました。キャンプ場に着いたら最初にテントを張りました。他の小学生と一緒にやりましたが時間がかかってしまいました。テントを張り終わったら開村式です、開村式は今年も面白かったです。僕は一班でキャンプの目標を発表しました。開村式が終わって昼食を取って、班別行動をしました。班別行動で僕は川遊びを選んでびしょ濡れになりましたがとても楽しかったです。



それから夕ご飯の準備をしました。僕は、火おこしをしました夕ご飯はカレーうどんを班の皆で

(平成28年9月10日発行 月刊「円福」482号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

作りました。とても美味しく出来ました。そのあとキャンプファイヤー、肝試しをやって一日目が終わりました。二日目は朝食作りでトーストを作って食べました。朝食の後は後片付けをしてテントを回収して、班対抗レクをしました。なかなかむずかしい競技もありましたが盛り上がりしました。今年のキャンプも、とても楽しかったです。(小6 NM)

8月9日・10日は戸隠イースタンキャンプ場へ行きました。私は今年3班になりました。初めはあまりまとまらなく、料理を決めたり、班名を決めるのにとても時間がかかりました。食事作りはとっても大変だったけど、とっても楽しかったです。夕飯は流しそうめんと大阪焼きをやりました。流しそうめんはキャンプでは初めてやったので、とっても楽しかったです。夜はキャンプファイヤーや花火、肝試しをしました。私は今年キャンプファイヤー係だった為、皆を十分に盛り上げました。キャンプだホイの振り付けが分からなく大変でしたが、本番では覚えた振り付けを一生懸命踊りました。成功してよかったです。楽しい二日間になりよかったです。(中2 Y・O)



8月9日・10日に戸隠キャンプがありました。キャンプの準備では積極的に動けて良かったです。当日はバスの中でレクをしました。楽しかったです。キャンプ場に着くと、荷物を下ろしたり、テントを組み立てました。やり方を教えてもらいながら立てる事ができよかったです。午後のグループ行動ではおやつ作りをしました。フルーツピザを作りましたが、薄く広げた生地にフルーツをのせたり、クリームチーズをのせて焼きました。生地がパリパリしていてとてもおいしかったです。夜はキャンプファイヤーをしました。係として盛り上げる事ができたし、皆と楽しむことが出来ました。そのあとは花火をやり、肝試しをやりました。一人で行くのは嫌だったので、窪田先生と回りました。最後の方は怖くて叫びました。でも楽しかったです。全部が終わった後に中高生と先生達で振り返りをしました。そこでいろんな話をしたり、みんなでラーメンを食べました。またそのあとは語り場がありました。そこではいろんな話をしたり、先生達から見ての自分話を聞きました。色々な話が聞けて良かったです。二日間とっても楽しかったし、去年よりもとてもよいキャンプになりました。来年も肝試しは一人は嫌です。(高校2 N・Y)